

2025年度 経営史学会第61回全国大会

会場

埼玉大学 大久保キャンパス 全学講義棟1号館

受付

2025年12月6日(土) 9:00~ 全学講義棟1号館2階

2025年12月7日(日) 9:00~ 全学講義棟1号館2階

会員控室・昼食・休憩

全学講義棟1号館2階 1-203

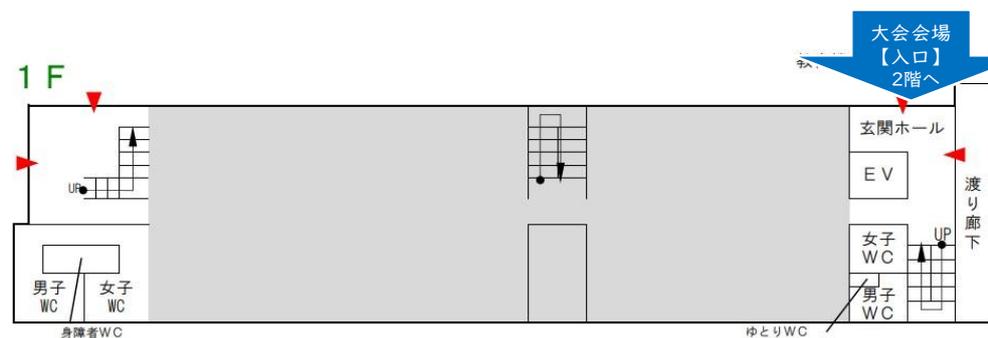
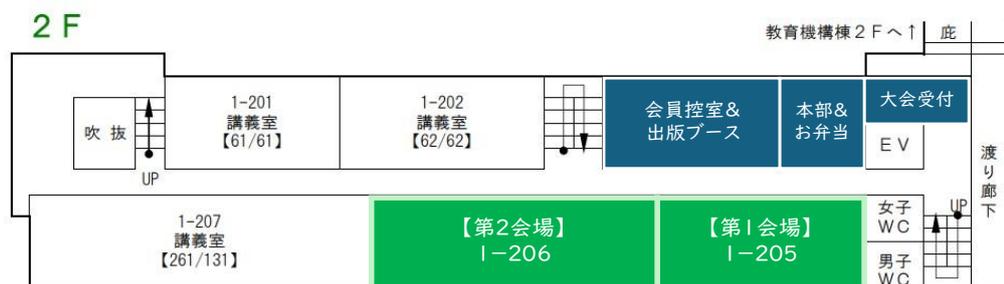
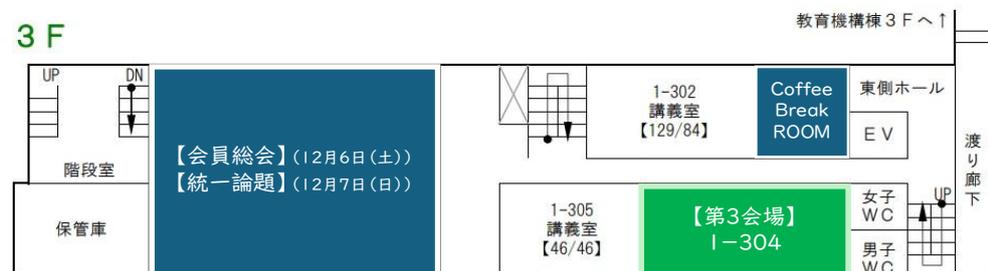
コーヒープレイク

全学講義棟1号館3階 1-303

懇親会

12月6日(土) 18:00~20:00 大学生協第2食堂

会場・キャンパスマップ



建物配置図

- 教養学部・大学院人文社会科学研究科
- 経済学部・大学院人文社会科学研究科
- 教育学部
- 理学部・大学院理工学研究科
- 工学部・大学院理工学研究科
- その他

- 1 事務局棟
- 2 守衛所
- 3 研究機構棟
 - ・日本語教育センター (1F)
 - ・オープンイノベーションセンター (1F)
 - ・先端産業国際ラボラトリー (1F)
 - ・リサーチ・アドミニストレーターオフィス (2F)
 - ・ダイバーシティ推進センター (3F)
- 5 教養学部棟
- 8 一般管理施設 (多目的棟)
- 9 教育機構棟
 - ・英語教育開発センター (2F)
 - ・障がい学生支援室 (2F)
- 10 全学講義棟 1号館 (1F 学生センター)
- 7 全学講義棟 2号館
- 6 全学講義棟 3号館
- 14 理学部 1号館
- 13 理学部 2号館
- 11 理学部 3号館
- 12 理学部講義実験棟
- 15 工学部情報工学科棟
- 16 大学院理工学研究科棟
- 18 工学部電気電子物理工学科棟 1号館
- 17 工学部電気電子物理工学科棟 2号館
- 19 工学部講義棟
- 20 情報メディア基盤センター
科学分析支援センター・総合技術支援センター
- 21 総合研究棟 1号館
- 23 総合研究棟 2号館
- 25 総合研究棟 3号館
- 22 工学部機械工学・システムデザイン学科棟
- 28 アイソトープ実験施設
- 26 工学部応用化学科棟 1号館
- 24 工学部応用化学科棟 2号館
- 29 工学部電気電子物理工学科棟 3号館
・応用化学科棟 3号館
- 27 工学部実習工場・研究実験棟
- 29 工学部環境社会デザイン学科棟 1号館
- 28 工学部環境社会デザイン学科棟 2号館
・社会変革研究センター レジリエント社会研究部門
- 30 工学部環境社会デザイン学科棟 3号館
- 29 工学部環境社会デザイン学科第1実験棟
- 31 工学部環境社会デザイン学科第2実験棟
- 32 工学部環境社会デザイン学科第3実験棟
- 34 オープンイノベーションセンター研究棟
- 35 納品検収センター
- 36 課外活動共用施設
- 37 教職員駐車場
- 38 防災備蓄品倉庫
- 39 テニスコート
- 40 野球場
- 41 ラグビー場



- 42 サッカー場
- 43 投てき場
- 44 ゴルフ練習場
- 45 陸上競技場
- 46 プール
- 47 第1武道場
- 48 弓道場
- 50 総合体育館 (避難場所)
- 49 第1体育館
- 78 学内合宿研修所
- 51 第1食堂 (けやきホール)
- 67 第2食堂・売店
- 59 教育学部 A 棟
- 58 教育学部 B 棟
- 50 教育学部 C 棟
- 53 教育学部 D 棟
- 52 教育学部 H 棟
- 54 教育学部コマ 1号館
- 76 大久保農場
- 61 図書館 1号館
- 62 図書館 2号館
- 63 図書館ラーニングcommons
- 55 経済学部 A 棟
- 56 経済学部 B 棟
- 57 経済学部研究棟
- 65 保健センター
- 66 学生会館・コンビニエンスストア
- 70 国際交流会館 1号館
- 71 国際交流会館 2号館
- 72 国際交流会館 3号館
- 73 国際交流会館 4号館
- 4 駐輪場
- 74 学生駐輪場
- 75 学生駐車場
- 78 学生宿舎

大会プログラム【1日目】

午前の部(9:30~)

第1会場(1-205教室)	第2会場(1-206教室)	第3会場(1-304教室)
個別報告セッション1(9:30~10:30)		
司会：菊池 航(立教大学)	司会：谷本 雅之(大妻女子大学)	司会：橘川 武郎(国際大学)
<p>〈産業政策1〉</p> <p>柳 尚潤(蔚山大学校)・呂 寅満(国立江陵原州大学校)</p> <p>1970年代韓国自動車産業の発展における政府・企業間関係の再検討</p>	<p>〈経営史の再構想1〉</p> <p>清水 剛(東京大学)</p> <p>未来を見せる装置：1920年代~30年代の日本における冷房の普及</p> <p>佐藤 秀昭(大阪大学)</p> <p>昭和恐慌期東京府における商工業者の階層分析</p>	<p>〈経営史の再構想2〉</p> <p>陳 慕薇(北京外国語大学)</p> <p>日本における経済制度の近代化：国際比較に向けた指標設計と時系列分析</p> <p>瀧波 康修(埼玉大学・院)</p> <p>福島原子力発電所1号機ベントの危機対応力：不確実な状況下において人類初のベントはいかになされたのか</p>
コーヒープレイク(10:30~11:00)		
個別報告セッション2(11:00~12:30)		会員提案企画1(11:00~12:30)
司会：稲葉 和也(山口大学)	司会：菅山 真次(東北学院大学)	
<p>〈産業政策2〉</p> <p>細井 拓真(東北大学・院)</p> <p>天下りの機能と人的ネットワーク：日本の高度成長期における石油化学工業を事例として</p> <p>橋本 規之(信州大学)</p> <p>日本の機能性化学における産業政策と企業行動</p> <p>JULIEN BREUZON(京都大学・院)</p> <p>日本の宇宙政策と宇宙産業：産業成熟度の観点から</p>	<p>〈職業と資格・制度〉</p> <p>水村 陽一(日本住宅総合センター・東洋大学現代社会総合研究所)</p> <p>ドイツ手工業の特殊性と社会的市場経済の適用：手工業秩序法制定から2004年手工業大改革に至るまでの政策と動向の整理</p> <p>吉川 英輝(京都大学・院)</p> <p>保険数理士の職業倫理：米エイズ危機と医療・生命保険引受</p> <p>飯塚 陽介(帝京大学)</p> <p>民間資格制度の先駆けとその挫折：商業実務員学力検定試験の制度化過程</p>	<p>経営史研究における生成AIの可能性</p> <p>【報告者】</p> <p>1.星野 雄介(京都産業大学)・長谷部 弘道(日本大学)</p> <p>生成AIを使った定性研究の試み</p> <p>2.平尾 毅(京都橘大学)</p> <p>20世紀初頭における英国新聞のテキスト抽出・分析事例</p> <p>3.谷口 明丈(中央大学)</p> <p>GEの歴史資料をAIで読む</p> <p>【コーディネーター】</p> <p>長谷部 弘道(日本大学)</p>
<p>昼休憩</p> <p>(12:30~13:30)</p>		会員提案企画2(12:30~13:30)
		<p>経営史教育の現在地：学部生の意識調査をめぐって</p> <p>【報告者】</p> <p>1.中島 裕喜(南山大学)</p> <p>2.大島 久幸(高千穂大学)</p> <p>3.橋口 勝利(慶応義塾大学)</p> <p>4.佐藤 秀昭(大阪大学)</p>

大会プログラム【1日目】

第1日目：2025年12月6日(土)

午後の部 (13:30~)		
第1会場(1-205教室)	第2会場(1-206教室)	第3会場(1-304教室)
個別報告セッション3 (13:30~15:00)		会員提案企画3 (13:30~15:00)
司会：宇田 理(青山学院大学)	司会：藤岡 里圭(東京大学)	
<p>〈先端産業〉</p> <p>石川 雅敏(ノースアジア大学) 九州大学医学部生化学教室を介した 遺伝子組換え技術の普及</p> <p>黒澤 隆文(京都大学) 半導体のグローバル産業史: 産業の存 在論と産業ダイナミクスの視点から</p> <p>田邊 潤一郎(慶応義塾大学・院) 2000年代から2010年代前半のスマー トフォンLSI企業の開発戦略: スマ ートフォンの階層構造に着目して</p>	<p>〈流通と市場組織〉</p> <p>井原 基(埼玉大学) 中国日用品流通チャネルの発展: 立白 を中心に</p> <p>林 彦櫻(弘前大学) 戦後日本における流通近代化とボラン タリー・チェーン</p> <p>長尾 清美(宮崎学園短期大学) 再販売価格維持行為の再考: 医薬品 メーカーの再販契約における空白の8 年間</p>	<p>翻訳だけでは届かない: 若手研究者のた めの国際ジャーナル投稿実践パネル</p> <p>【オーガナイザー】 酒井 健(一橋大学・東北大学)</p> <p>【司会・質問ナビゲーター】 趙 勝新(同志社大学)</p> <p>【パネリスト】 1.酒井 健(一橋大学・東北大学) 2.PIERRE-YVES DONZE(大阪大学) 3.橋野 知子(神戸大学)</p>
コーヒーブレイク(15:00~15:30)		
個別報告セッション4 (15:30~17:00)		
司会：山下 麻衣(同志社大学)	司会：兒玉 州平(大阪経済大学)	司会：川本 真哉(立教大学)
<p>〈営利・非営利と経営〉</p> <p>犬飼 菜帆(一橋大学・院) ヴィクトリア朝ロンドンの慈善病院 における小規模専門病院の競争戦略 と資金調達</p> <p>NADIRE SILAMUJIANG(京都大学・ 院) ナショナル・ヘルスケア・システム からの逸脱: 新興国における国際病 院の台頭と医療ツーリズムの発展 (1990年代以降)</p> <p>中野 貴元(全国経理教育協会) 戦前期における神社経営の課題</p>	<p>〈産業史と企業行動〉</p> <p>古月 翔矢(東京大学・学振PD) 「契約者国家論」再考: 民間造船業者 の艦船契約とイギリスの国家形成 (1689年~1713年)</p> <p>石崎 啓太(慶応義塾大学・研究員) ホンダのディーゼル事業における内製 参入と撤退の経緯(2003-2021)</p> <p>TOM LEARMOUTH(LSE・院) 戦間期の神戸市と久留米市のゴム産業</p>	<p>〈会社とは何か〉</p> <p>佐藤 秀昭(大阪大学)・黒澤 隆文(京都大 学) ファミリービジネス史研究再考: 家族人 類学的視点の可能性</p> <p>藤田 葵(京都大学・院) 第一次企業勃興期に至る時期の会社によ る北海道農業経営: 2つの「農業会社」 の比較を通じて</p>
会員総会(17:10~17:55)		
全学講義棟1号館3階 1-301		
懇親会(18:00~20:00)		
大学生協第2食堂		

大会プログラム【2日目】

第2日目：2025年12月7日(日)

午前の部 (9:30～)

統一論題(9:30～12:00) 全学講義棟1号館 1-301教室

戦前・戦後の埼玉産業経営史

【企画者】	阿部 武司 (大阪大学・名)	【司会】	大石 直樹 (埼玉大学)
【報告者】	<p>1.阿部 武司(大阪大学・名) 近現代における埼玉県下主要企業の変遷</p> <p>2.老川 慶喜(立教大学・名) チンチン電車 (川越～大宮間12.9km) の経営史</p> <p>3.中西 啓太(東京大学) 明治・大正期煉瓦製造業者の経営判断と埼玉という立地</p> <p>4.佐々木 聡(明治大学) 『流通革命』論と埼玉県の日用品・化粧品卸売企業:麻友の事例を中心に</p>		
【コメンテーター】	<p>1.伊藤 修(埼玉大学・名)</p> <p>2.今泉 飛鳥(東京大学)</p> <p>3.齋藤 邦明(東洋大学)</p>		

会員提案企画4 (12:00～13:00)
第3会場 (1-304教室)

昼休憩
(12:00～13:00)

実践セミナー
子育てと経営史研究の両立
【報告者】
1.佐藤 秀昭(大阪大学)
2.呉 賛(名古屋外国語大学)

午後の部 (13:00～)

第1会場(1-205教室)

第2会場(1-206教室)

第3会場(1-304教室)

個別報告セッション5 (13:00～15:00)

パネル報告セッション
(13:00～16:00)

司会：長谷部 弘道(日本大学)

司会：田中 彰(京都大学)

〈技術開発と人材・管理〉

島山 裕士郎(明治大学・院)
ジョン・スカリー期のアップル・コンピュータ社における製品開発体制の変容と収益悪化：開発過程と技術人材の流出に着目して
高梨 透(みずほりサーチ&テクノロジー株式会社)
ITシステムの開発・運用の外部化と内部化の揺れ動きとその諸条件
宮田 憲一(明治大学)
戦後GEにおける企業内大学の設立とプロフェッショナル・マネジャー育成の展開
北澤 満(九州大学)
明治後期中小鉱業経営における労務管理: 大阪鉱業株式会社を事例として

〈多角化と組織構造〉

島本 実(一橋大学)・金 成美(県立広島大学)・遠藤 寛士(麗澤大学)
IT企業の発展パターン:米日韓の比較
BAICK KYUHYUN(京都大学・院)
韓国財閥と多角化戦略：主要8財閥の趨勢を中心に
内海 京久(高知工科大学)
なぜ富士フィルムは生き残れたのか：コア事業喪失における戦略転換の歴史的ダイナミズム
大賀 健介(住友史料館・研究員)
住友本社の不動産管理部門：地所課の組織と事業

企業史料の将来と現状

【報告者】
1.井澤 龍(東京都立大学)
英米のビジネス・アーカイブズから
2.阿部 武司(大阪大学・名)
企業史料の保存への研究者の貢献
3.富士 章(花王株式会社・花王ミュージアム館長)
企業ミュージアムの立場からみたアーカイブズの重要性
4.清水 ふさ子(立教大学)
企業史料におけるアーキビストの役割

大会プログラム【2日目】

第2日目：2025年12月7日(日)

個別報告セッション6 (15:05~16:35・17:05)	
司会：前田 廉孝(慶応義塾大学)	司会：石井 晋(学習院大学)
<p>〈地域社会と交通〉</p> <p>下高下 健介(青山学院大学・院) 両大戦間期における地方名望家の地域開発事業：青森県五戸電気鉄道を事例として</p> <p>河村 徳士(城西大学) 戦間期日本小運送業における大手運送店の役割：国際通運株式会社を事例として</p> <p>相川 雄哉(同志社大学) 産地の発展における人的資本と協同行動の役割：兵庫県・丹波陶磁器産地の事例、1959-2022年</p>	<p>〈産官学関係と教育機関〉</p> <p>松林 洋一(アジア太平洋研究所)・足利 朋義(アジア太平洋研究所)・壁谷 紗代(アジア太平洋研究所) 戦前期における京都・大阪の化学産業発展と産学連携の歴史</p> <p>山中 千尋(名古屋工業大学) 戦時下・占領期における「学術振興」の継続：日本学術振興会の官民協働とインキュベーション機能</p> <p>金井 昌宏(明治大学・事務長) 「産学協同」から「産学連携」への転換：科学技術基本法(1995年)制定に至る政策立案上の布石</p> <p>堤 悦子(北海商科大学) 高等教育機関のマネジメント：歴史的考察と説明責任</p>
※パネル報告セッションつづき	
<p>【コメンテーター】</p> <p>1.大島 久幸(高千穂大学) 経営史家として、『企業史料の保存と利活用』特集エディターとして</p> <p>2.中園 宏幸(関西大学) 企業史料を介した経営史学者・経営学者・アーキビストの連携と将来の可能性</p>	